



【3月23日・院内集会】

(コロナ感染対策を十分実施して開催)

☆「公的賃貸住宅、住宅セーフティネットの 抜本改善を！」☆

日時 2022年3月23日(水) 12時～14時

〈11時30分から通行証配布〉

会場 参議院議員会館・1階・101会議室

〈裏面に会場案内・関連資料〉

予約等は不要

〈プログラム〉 (報告テーマ等は仮題)

司会 竹内 清(住まい連幹事)

□ 開会あいさつ 「公的賃貸住宅、住宅セーフティネットの現状」 坂庭国晴(住まい連代表幹事)

□ 特別報告 「居住保障から見た『東京都住宅マスタープラン』の策定」

中島明子(和洋女子大学名誉教授)

□ 各党国会議員からのあいさつ

□ 報告1:公営住宅の居住実態と孤独・孤立問題、改革の方策、

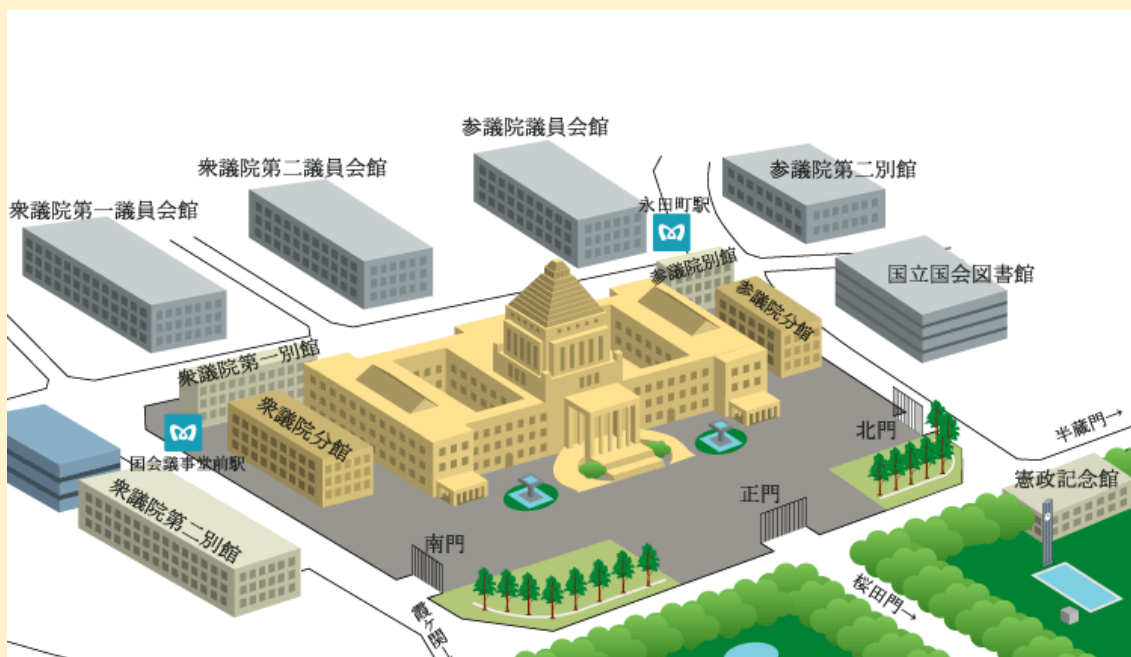
報告2:公社賃貸住宅の現状と家賃減額の取り組み、

報告3:UR 賃貸住宅とセーフティネット住宅、現状と改善

報告4:民間賃貸住宅と住まいのセーフティネットをめぐる諸問題

【開催団体】 国民の住まいを守る全国連絡会(住まい連)、日本住宅会議・関東会議、

住まいの貧困に取り組むネットワーク(住まいの貧困ネット)



【アクセス】 下記東京メトロ(地下鉄)

国会議事堂前駅(丸の内線、千代田線)徒歩約5分

永田町駅(有楽町線、南北線、半蔵門線)徒歩約3分

会場は右上の参議院議員会館

1階・101会議室

(当日1階フロアで会場案内)

2022年度予算案での「住宅セーフティネット関係」(国交省)

「誰もが安心して暮らせる多様な住まいの確保に向け、住宅セーフティネット機能の強化を図る」

- ①孤独、孤立対策に資する交流スペースの設置を支援(公営住宅等、SN住宅、サ高住)
- ②居住支援法人による見守り支援付きセーフティネット登録住宅の運営支援、
- ③低額所得者によるセーフティネット登録住宅の住み替え支援、
- ④アウトリーチ型等による居住支援活動支援、
- ⑤住まいのセーフティネットの在り方検討。(①、③、⑤などを院内集会で取り上げ)

「東京都住宅マスタープラン」2021年—2030年「成長と成熟が両立した未来の東京の実現に向けて」1月に案発表、2月26日まで意見募集、3月中に策定。

“はじめに”では、「住宅は生活の基盤であると同時に都市を形づくる基本的な要素です。住宅のありようは、地域社会の維持形成とも密接に関連しています。」とあります。

【連絡先】 東京借地借家人組合連合会・多摩借地借家人組合

TEL 042-526-1094 FAX 042-512-7194